

かみさと



学校教育目標
豊かな心もち
他のために行動できる子
やさしく かしく
たくましく

①んがえて行動 ②みんなにあいさつ
③そい合って働く ④もだちを大切に

さいたま市立上里小学校 学校だより
発行者 校長 藤田 敦

令和6年10月31日(木) 11月号
〒339-0006 さいたま市岩槻区上里2丁目2番地 TEL048-794-2316

愛情と憧れ

校長 藤田 敦

秋らしい風が吹き抜け、朝晩は肌寒いくらいの陽気になりました。まさしく、読書やスポーツにぴったりの季節となりました。

さて、2学期に計画されていた校外学習が、今月予定されている6年生の修学旅行を除いてすべて実施することができました。体調管理、水筒やお弁当の準備等、御家庭の御協力のおかげです。ありがとうございました。どの学年も立派な態度で真剣かつ楽しく見学や体験をする姿に子どもたちの成長を感じ、うれしく思いました。

先月は、東岩槻フェスティバルや東岩槻地区体育祭など地域の行事も開催されました。8月の下旬には、東岩槻祭りも行われました。地域の中で豊かな体験ができることは、児童にとって大変幸せなことだと思います。AIが発達して、手軽に様々な情報を手にすることができますが、人との直接的なかかわりや実体験は今後の人生にとって大きな糧となります。改めて、地域の底力を感じております。地域があってはじめて学校が存在します。また、地域(郷土)があるからこそ自分(個)が存在し得るともいえると思います。郷土を大切にしようと言葉でいっても難しく、郷土のよさを実感してこそ郷土愛が育まれると思います。ですから、本校児童は、郷土愛をじっくりと醸成できていると思います。さらには、未来の郷土の担い手が着実に育っていると感じております。

地区体育祭のあいさつでも述べさせていただきましたが、自治会の方々が学校周囲の草取りをしてくださったり、校庭開放団体の方々が駐車場の環境美化をしてくださったりと登下校の児童の安全確保や上記の行事の開催等だけでなく環境整美においても地域の皆様に支えられていることに感謝の気持ちでいっぱいです。これら以外にも、暑い日も雨の日も玄関先に立って登校する児童にあいさつをしてくださる方、児童の落とし物を学校まで届けてくださる方、4年連続全国大会出場が決まった金管バンドのがんばりを心から喜んでくださる方…等、書ききれないほどの愛情をいただいております。

先日、さいたま市道徳教育推進委員会という会議に出席してまいりました。協議題の主旨はいかに児童・生徒が夢や希望をもてるかでした。小学校段階からキャリア教育の充実や様々な職種を知ることなどが重要との意見がだされましたが、何ととっても「憧れの対象となる大人の存在」が不可欠であると私は考えました。本校児童は、先に述べたような地域の方々、つまり「憧れの対象となる大人」に囲まれているといえます。人(子どもたち)のためにそれぞれのお立場で考え、行動できる地域の方々にはまさに「憧れの対象となる大人」であると思います。

職員にも常々、教員は教室においては唯一の大人であり、手本たるべき存在でなくてはならないと伝えております。地域の方々及び保護者の皆様の御協力に対する感謝の念を新たに、さらに児童にとってよりよい生き方を示すことができるよう教職員一丸となって精進してまいります。

今月もどうぞよろしくお願いたします。